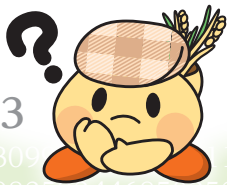


# 数字で振り返る岩見沢



## 進む高齢化と 生産年齢人口の減少

### 第2回 今月の数字 生産年齢人口 53.6 パーセント

第1次ベビーブーム期に生まれた世代が、75歳を迎えます。この時期から始められた赤ちゃんコンクールは、国民健康保険事業に基づく健康診断などととも、母子保健施策の普及を促すことになりました。

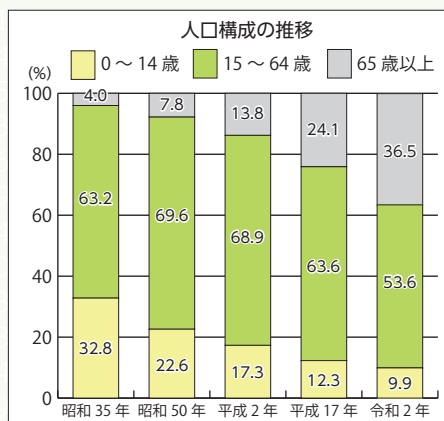
岩見沢、北村、栗沢を合わせた国勢調査の人口は、合併前後の平成17年ごろまでは9万人を上回る状況でしたが、少子高齢化が進み、令和2年には65歳以上人口が36.5パーセントに達し、さらに30年後にその割合は50パーセントに迫り、市民の半数を高齢者が占めると予想されています。また、市民の暮らしを支える15歳から64歳までの生産年齢人口は、30年前までは人口の70パーセント近くを占めていましたが、令和2年には53.6パーセントにまで低下し、働き手を確保するため夫婦共働きや70歳まで就業機会を確保することが奨励されています。幼稚園は定員を縮小する一方で、1歳前後からこどもを預けて復職する共働き世帯が増え、保育所の0歳児の利用は、最近



赤ちゃんコンクール (昭和36年9月)

10年間で10パーセント台から30パーセント台後半まで上昇しています。市子ども・子育て会議では、こうした状況に 대응する子ども・子育て支援のあり方が議題になっています。一方、市内金融機関による景況レポートは、地元企業の多くが取引先や商圏人口の減少などとともに人手不足を経営上の課題としている状況を伝えています。

人口減少は、今後30年間程度は進むと予想されています。令和2年3月の北海道人口ビジョン改訂版では、就業者数の減少や高齢化の進行に伴う生産・消費の減少や医療費・介護費負担の増大、地域交通の利便性低下などに伴い、暮らしの安心を確保するために、幅広い世代が集い、つながり、心豊かに暮らせる包容力のある社会の実現を訴えています。私たちは、生産年齢人口が減少しても困らないような暮らし方や働き方を真剣に考えていく必要があります。



### 人の動き (令和6年3月31日現在)

- 住民基本台帳 人口
  - 男 34,970 人 (前月比 - 186)
  - 女 39,960 人 (前月比 - 164)
  - 総数 74,930 人 (前月比 - 350)
- 世帯数 40,571 世帯 (前月比 - 75)

### 岩見沢市役所

☎ 068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
 ☎ 0126-23-4111 (代表) FAX 0126-23-9977  
 ホームページ  
<https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp>



発行・編集 岩見沢市総務部秘書課広報室

### 広報クイズ

#### 問題

市場規模の縮小や□□□の不足に加え、インターネット通販の普及によるビジネス環境の変化などが、中小企業の事業継続に影響を及ぼしています。□に当てはまる言葉をお答えください。

#### プレゼント

正解者の中から抽選で10人に図書カード500円分をプレゼント

締め切り 5月20日(月) (必着)

#### 応募方法

はがき(送付先左記)、市ホームページのフォーム、ファックス(0126-23-7731)、Eメール(pr@city.iwamizawa.lg.jp)で、●クイズの答え●住所●氏名●年齢●電話番号●広報紙に関するご意見・ご要望を必ず記入し、総務部秘書課広報室へ。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。4月号の正解はこどもでした。



広報紙はとじておきましょう